

トピックス

- ★ 第11回講義：水産研究で活躍する博士たち
- ★ 高度専門キャリア形成論にご期待ください！
- ★ 長期インターンシップのH27年度募集

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室が作成・配信しています。キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

国立大学法人
東京海洋大学・キャリア開発室
電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

●引き続き『高度専門キャリア形成論』にご期待ください！

**7回以上出席した10名には単位が付与されました
平成27年度も、様々な分野で活躍する方々を講師にお招きします**

✿平成26年度の講義実績

- 第1回「将来の働き方の選択肢と就職を考える」 キャリアデザインシリーズ1
- 第2回「世界で活躍している博士研究者に聞く、海外でのキャリア形成とは」 特別セミナー
- 第3回「真珠研究の最前線」
- 第4回「いま企業が求める人材とは ～社会と企業の変化を知ろう！～」 キャリアデザインシリーズ2
- 第5回「水産や海洋で活躍している博士研究者に聞く、学位取得者に期待されることは」
- 第6回「国際協力の業務について ～開発コンサルタントの仕事～」
- 第7回「社会人基礎力をつけよう！」 キャリアデザインシリーズ3
- 第8回「企業の研究所に広がる可能性 ～夢を持って社会に出よう！～」
- 第9回「就活成功への心得と実践」 キャリアデザインシリーズ4
- 第10回「持続可能な社会を目指して ～環境科学の総合コンサルタントとして～」
- 第11回「大学・公的研究機関の水産研究で活躍する博士たち」

詳細はHPで

●第11回高度専門キャリア形成論の報告

大学・公的研究機関の水産研究で活躍する博士たち

平成27年2月26日(木) 16:20～17:50 於 品川キャンパス 2号館100A

「国立大・独法・私立大を渡り歩いて」

土井 航氏 東海大学海洋学部水産学科 講師

✿船上で応募書類を作成

1年間のポスドクや水産総合研究センターで研究員を経験した。日本海で調査船に乗っているとき、知人から東海大学で公募があると教えてもらった。

✿私立大学での教員職

私立大は、国立大よりも授業数が多い。また、大学のオープンキャンパスや一般人向けに講義することもあり、小中高の生徒とその父母に接する機会も多い。3月が一番時間の余裕があり、この間に論文を書いている。

✿独法での研究員

前職では、用途は限られていたが必要な研究費は与えられた。個人的な研究も何とかできるが、研究以外の仕事もたくさんある。異動によって、全く異なる研究対象に変わることもある。

✿論文をたくさん書く

大学院生は、今の環境に感謝して研究に打ち込んで欲しい。ポスドクの就職は偶然の要素も少ないので、論文をたくさん出すことで、少ないチャンスをもものにすることができる。

「ハーバード大学での奮闘記」

今村 伸太郎氏 (独)水産総合研究センター 中央水産研究所 研究員

✿研究者を目指すキッカケ

中央水研で、ゼブラフィッシュの分子生物学を博士研究する機会があった。魚の体の中で起こることを、目で見て知ることができることに感動した。

✿ノーベル賞受賞者が沢山いる環境で研究

ハーバード大学医学部のダナ・ファーバ癌研究所は研究が活発で、皆がやる気に満ち溢れた環境で研究ができるのは幸せだった。英語が全く喋れなかったが、自分の強みをアピールしたことで皆に溶け込むことができた。

✿帰国後は就職先を探して苦労した

3年後に帰国して、正社員になろうとしたがなかなか決まらず1年間のポスドクになった。運良く、中央水研のテニユアトラックに採用された。このとき、恩師との繋がりが大事だと思った。

✿あえて外に出ることで可能性も広がる

リスクを負っても海外留学するのは、日本では得られない経験があるから。就職したら、納得できない研究もしなければならぬことも多いので、ぜひ今を大切にしたい。



●平成27年度も『長期インターンシップ』を募集します!!

キャリア面談と事前講習でしっかりとサポート

■ 募集対象者

- ・ポスドクター(満期退学者を含む)または博士後期課程在学者

■ 応募要件

- ・公設試、民間企業等で、通算3か月程度のインターンシップに従事すること。
- ・自身の専門分野だけでなく、幅広い知識や技術の習得に積極的であること。
- ・博士号取得者のキャリア開拓に意欲的であること。

■ インターンシップ受入先

- ・観測調査、コンサルティング、水産、食品・バイオ、流通、船舶、機械等々
応募者の希望に基づいて受入企業とのマッチングを進めます。

※ 詳細は『募集要項』を確認してください。

◆ キャリア開発室の活動内容、最新情報、各種パンフレットや申請書等はホームページから入手できます。 <http://www.kaiyodaicareer.com/>

博士人材のキャリア開発
海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

